

滋賀県産業振興協同組合 SDGs 行動宣言

私たち滋賀県産業振興協同組合は、SDGs (持続可能な開発目標) に取り組み、持続可能な社会の実現に貢献することを宣言します。

私たちは、昭和24年の設立以来、「強存彊榮」を理念に、一社ではなし得なかった金融事業、電算機の共同利用、経営者の研鑽、福利厚生、従業員の交流事業などに取り組んできました。これらの活動は、社会に役立つ「ものづくり」を行う異業種協同組合として、組合員の繁栄とより良い社会の実現を目指したものであり、持続可能な社会の実現に向けて「誰も取り残さない」というSDGsの目指すところと共通するものです。設立70周年を迎え、これまで養われ、受け継がれてきた協同組合の精神と強みを生かしてより良い社会を実現するために、私たちが考える「あるべき姿」を三つの取り組みにまとめました。これらの取り組みを通じて、持続可能な社会を目指す仲間と共にSDGsを実現していきます。

令和元年12月4日 理事長 北村嘉英

人の育成、ディーセント・ワークに関する取り組み

- 従業員がワークライフバランスを実現し、生きがいを持って働ける環境を整備するため、人材確保に向けた様々な取り組みを進めています。
- 従業員の資質向上や技術・知識の習得を目指した研修会等を開催し、学びの場を提供するとともに経済成長に向けた取り組みを進めています。
- 従業員の働き方改革を進め、定着を図るために必要な情報を収集し、労働環境の充実を進めています。



ものづくり企業としての取り組み

- 生産性向上や環境負荷軽減を目指した研修会等を開催し、持続可能な消費形態の実現に努め、限りある資源と環境に優しい生産活動を進めています。
- 県内大学や工業技術センター、その他の関係機関と連携し、技術力の向上や革新を進めています。
- SDGsに取り組んでいることを組合内外の関係者に広く知ってもらうために様々な形で情報発信を進めています。



パートナーシップおよび地域・社会との関わりの取り組み

- SDGs 行動宣言を通じ、持続可能な社会の実現に向けて、組合員総意のもと組合事業を進めていきます。
- 従業員の交流を兼ねた社会貢献活動を実施し、経済活動以外でも地域社会との結びつきを深めていきます。
- 地域社会の一員として県や市町、また各種団体と連携した事業を展開し、SDGsのみならず業界の垣根を超えて事業活動を進めていきます。

